



研究のことはば、教育のことはば

—教育、研究、人生を語る(その三)—

2015 Beppu University Open Lectures

本学教員が自らの研究、教育、人生について語る講座の第三回で、今年度は「ことば」を共通の主題として取り上げます。

ここで扱われる「ことば」には、まず第一に各自の研究分野における「専門用語」があります。自分の研究と切り離すことができない専門用語を紹介し、それらを解説することで、各教員が自らの専門について語ります。また、それらの専門用語を教員が学生に教える(伝える)ときに使用する「ことば」にも目を向けます。そこでは我々教員が常日頃実感している教育と研究の相乗効果が強調されることでしょう。専門用語に対する熱い思いが教育活動のエネルギーとなっていることや、「教えることば」によって「研究のことば」が磨かれていく様子などが述べられます。

現在、大学を語る際に必ず用いられる「地域に開かれた」というテーマを、「専門研究と教育活動」の視点で「ことば」を切り口に現実的に提示することが、今年度の講座のねらいなのです。

2015

- 9/29(火)** **古代ローマの方形地割**
【特別講演】 アントワヌ・ペレス (モンペリエ第3大学准教授)
 - 10/6(火)** **「英語学」という誤解** —ことばの本能を探る—
藤森 千博 (史学・文化財学科講師)
 - 10/13(火)** **「職業としての学問」と哲学に至る道**
佐藤 瑠威 (国際言語・文化学科教授)
 - 10/20(火)** **微生物との出会い** —生命の不思議に魅せられて—
小河 正雄 (発酵食品学科教授)
 - 10/27(火)** **遺物は語る** —埋蔵文化財の保存修復と文化財科学—
渡辺智恵美 (史学・文化財学科教授)
 - 11/10(火)** **日本語をかながえる** —タテとヨコの軸—
森脇 茂秀 (国際言語・文化学科教授)
 - 11/17(火)** **英語学と私** —小説言語のメカニズムを探る旅—
船田佐央子 (国際言語・文化学科講師)
 - 11/24(火)** **竪穴・竪穴住居・竪穴建物** —考古学は原始古代の住居をいかに認識したか—
田中 裕介 (史学・文化財学科教授)
 - 12/1(火)** **旅して考えたこと、ヨーロッパ・日本・そして家族と自分**
中山 昭則 (国際経営学科教授)
 - 12/8(火)** **心病める人々とのかかわりを通して** —アルコール依存症者を中心に—
尾口 昌康 (人間関係学科講師)
 - 12/15(火)** **EUおよびユーロ圏の現状と各国外交活動の現実** —ギリシャの財政危機を含めて—
【特別講演】 末綱 隆 (丸紅 監査役)
 - 12/22(火)** **自閉スペクトラム症の人たちの「こころ」**
石川須美子 (人間関係学科准教授)
- 2016
- 1/5(火)** **「会計学」それは偉大なる人生の道標**
高木 正史 (国際経営学科准教授)
 - 1/12(火)** **食べることは生きること** —料理コンテストを通しての地域貢献—
平川 史子 (食物栄養学科准教授)

シンポジウム

2016/1/19(火) 10:40~12:10

500番教室

シンポジウム

「教育と研究：大学の役割」

入場
無料

会場

別府大学 500番教室
大分県別府市北石垣82

時間

火曜日2限目
10:40~12:10

お問い合わせ先

0977-67-0101 (大学へ)
大教務課へ
<http://www.beppu-u.ac.jp/>